

きいちゃんの いきいき支え合い通信

この通信では、地域の「顔が見える」関係の中で、日常生活の困りごとを助け合い、支え合う活動が進むことを願い、生活支援に関する県内の先進事例等を発信していきます。

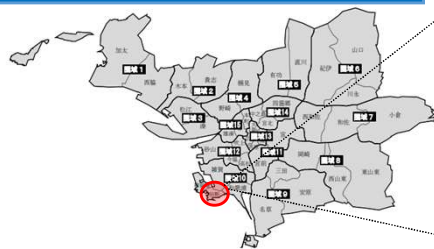


第27号

令和8年8月
和歌山県
長寿社会課

支え合い事例紹介 和歌山市田野地区 「田野くらしサポート」が実施する買い物支援

和歌山市田野地区について



和歌山市田野地区は、アニメ「サマータイムレンダ」の舞台のモデルとなった地域の一つであり、美しい港町や入り組んだ住宅街の風景が数多く残っている風情に富んだ地区です。また、人口約400名であり、その多くが70、80代を中心とする高齢者で構成されており、高齢化率は約58%と和歌山市で最も高齢化が進んでいる地区でもあります。

田野くらしサポートの立ち上げの経緯

高校卒業時まで過ごした、地元、田野地区のために、なにか地域貢献がしたいという想いがあった中、運転免許をお持ちの方でも、運転時の安全面に不安を感じておられる方が増えていることや、急な坂道や階段が多く、日常の買い物に不便を感じているという住民からの声を多く聞くようになり、そこに地域の課題を感じた北村代表が、①住民の生活維持支援、②外出機会の創出、③孤立防止、④見守り機能の強化、⑤地域コミュニティの維持になるのではないかと強い思いから、この買い物支援サービスを開始したとのことでした。

また、職場の理解や、ご自身が田野消防団の団長を務めていることもあり、消防団をはじめ、田野自治会、田野支所、市社会福祉協議会、漁業組合等からの手厚いサポートを受け、当サービスを開始することができたとのことでした。



「田野くらしサポート」北村代表

買い物支援サービスの内容について

この買い物サービスの具体的な内容について、北村代表にお伺いしたところ、毎月の地区の神社の清掃の日（1日、15日）に合わせて、事前に予約をいただいた利用者を対象に、最寄りの商業施設までの送迎（ドライバーは主に北村田野地区自治会長、北村代表、土山第2層SCが担っており、自家用車を活用。）、買い物支援、自宅までの荷物の運び込みを行っているとのことでした。

実際に、待ち合わせから荷物の運び込みまで、一連のサービスを見学させていただきましたが、予想以上に急な坂道や、人が2人、並列して歩ける程の狭い路地を抜けた先にある、家までの長い階段が印象的で、高齢者が買い物後の重い荷物を抱えたまま、1人で自宅まで帰るのは難しいなと感じました。その点、このサービスでは、自宅までの荷物の運び込みも行っており、地域のニーズにあった、サービスだと感じました。

お買い物支援サービス

7月1日(水)より
本格始動!

重い買い物荷物も安心!

**ご自宅の玄関先まで
お運びします!**

買物が大変な方、
運転に不安がある方、
ぜひご利用ください。

ご利用の流れ

- 9時30分に
集合場所に集合
- スーパーまで送迎し、
重い買い物荷物を
お買い物をサポート
- 重い買い物荷物を
ご自宅の玄関先まで
お運びします

サービス内容

- 集合場所からの送迎
- スーパーまで送迎
- 重い買い物荷物を
ご自宅玄関先まで送迎
- お買い物のサポート(必要に応じて)
- 地域の困りごと・交流にもつながります

ご利用料金

お一人様(往復)
500円

※お一人様1人1回限りです

※お一人様1人1回限りです

運行日

毎月
1日・15日

(事前予約制)

地域のみなさまが
安心して暮らせるよう、
活動を続けてまいります。

ご予約・ご利用の窓口は
田野支所・各自治会長
にお問い合わせください。

田野くらしサポート
田野自治会・田野公民館・田野消防団

ご利用の3日前までに
ご連絡ください。
(変更はご連絡ください)

田野地区社会福祉協議会



左から、北村自治会長、北村代表、土山第2層SC

県からのお知らせ

- 県では「生活支援専門アドバイザー派遣事業」を実施しています。
是非ご活用をお願いします。
- 皆様の取り組みを紹介させていただきます。
県職員が取材に伺いますので下記までご連絡をお願いします。

連絡先：和歌山県長寿社会課 電話：073-441-2521



実際の利用中の様子と利用者の声！

今回は、車への乗車から、自宅への荷物の運び入れまで、見学させていただきました。また、買い物サービスの利用者に、買い物後に集まっていただき、実際に利用している感想を伺いました。ニーズに合ったサービスになっていることに加え、今後の暮らしの心の支え、今の生活の楽しみになっていることがわかりました。

サービス利用中の様子



利用者が待ち合わせ場所に合流



車に乗車



買い物後、お喋りをしながら、利用者宅へ



路地を抜けて



自宅へ向かう途中の階段

買い物中の様子は撮影できませんでしたが、利用者の皆様は楽しそうに、自分の目で食材等を見て、カートを押しながら、店内を歩かれました。

利用者の声

このサービスは、すごくありがたい。スーパーへの行き帰りで、皆と近況を報告し合ったり、お喋りしたりするのが一番楽しいわ。いつもは、ヘルパーさんに買い物に行ってもらっているけど、実際に自分の目で見て、商品を選ぶので、いつもこの日を楽しみにしているの！

買い物が助かっているのはもちろん、道中での利用者の皆との近況報告が楽しいと仰っているのが、印象的でした。

この日は、重い商品を買っても家まで運んでもらえるので、楽しみだしありがたい。

田野地区は、急な坂道や階段が多くて一人で荷物を運ぶのは大変。今日はビールをたくさん買っちゃったわ！



利用者の皆様

このサービスはすごく便利で、いつも使っている。スーパーに行くと、いつも近所の知り合いに会うので、皆にこのサービスを使ったらいいのに！と伝えている。もっとPRして欲しい。

今後の展望

取材の最後に、北村代表に、今後の展望について、お伺いしました。

北村代表からは、買い物支援サービスについては、開始間もないということもあり、まだ、利用者は多くないので、現在の周知方法（掲示板、口コミ）に加え、全戸配布の回覧板等を活用しながら、困っている住民にサービスが行き届くようにしたいとのこと。また、利用者から、「病院にも連れて行って欲しい。」「この日は別のスーパーが安いから、そこに連れて行って欲しい。」等のニーズの多様化を踏まえ、行先についても、検討していきたいということ。さらに、「地域の何でも屋」として、電球交換や、ごみ捨て等にも対応できるよう、サービスの幅を増やしていきたいということや、田野地区内に、生活雑貨が全て揃う店がないので、商店を作りたいと考えていると、今後の展望を熱く語ってくれました。

このようなパワーに溢れた人材が目指す、田野地区の支え合いの地域づくりの今後が非常に楽しみに感じました。



地元への想いを語ってくれる 北村代表